

認知症とともに生きる まちを描く — 京都で考える —

この研修会は、フラットなコミュニケーションを通して、異なる職種の多様な視点や役割を相互に理解し、分担・協働しながら、認知症の人が必要とする支援を提供できる地域医療体制を構築することを目的に開催します。

第一部では、「わたしたちが取り組んでいること」として、認知症当事者の方が疎遠、孤立になるのではなく、社会参加できるように、下京区・南区・東山区で行っている取り組みをご紹介します。

第二部では、「わたしたちが学びたいこと」として、一般財団法人山内財団専務理事の山内万丈氏にご講演をいただきます。山内万丈氏は、横断的なコラボレーションを促すことで、京都に文化創造拠点を作ろうと、まちづくりに取り組んでおられます。まち並みが変化し続ける現代において、認知症になってもその人らしい生活を継続できるまちづくりは重要です。この研修会を通じて、多職種が新たな視点を心得、より良いまちづくりに取り組んでいければと考えています。

いずれも認知症の人に関わる医師や多職種にとって有益な内容ですので、是非ご出席ください。ますようご案内申し上げます。

参加費
無料



令和8年

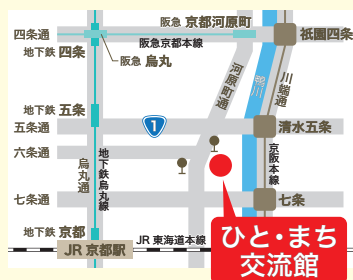
とき

10月10日(土)

午後2時～午後4時30分
(受付▶午後1時30分～)

ところ

ひと・まち交流館 京都 2階大会議室
下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側)



京阪電車
「清水五条」下車
徒歩8分
地下鉄烏丸線
「五条」下車
徒歩10分
市バス
4、7、205号系統
「河原町正面」下車
公共交通機関でのご来場にご協力お願い申し上げます。

総司会 医療法人 ふじた医院 理事長 藤田 祝子 氏

第1部 わたしたちが取り組んでいること

基調
講演
(30分)

認知症
一歩いっぽ まち歩き

講師 医療法人 富井医院 院長

富井 康宏 氏

座長 岸本クリニック 院長

岸本 卓三 氏

事例
発表
(30分)

いくつもの「壁」を乗り越えて
～後期高齢認知症当事者の
就労支援を行って～

講師 京都市下京区南区東山区
認知症初期集中支援チーム

杉岡 千香子 氏

コメンテーター

社会福祉法人きょうどう

就労継続支援事業所きょうどう 理事長 岸本 秀輝 氏

座長 康生会武田病院 脳神経内科

恒石 桃子 氏

医療法人 川口内科医院 院長

川口 隆作 氏

第2部 わたしたちが学びたいこと

特別
講演
(60分)

多様な人材が育む
まちの文化(仮)

講師 一般財団法人 山内財団 専務理事

山内 万丈 氏

座長 医療法人 富井医院 院長

富井 康宏 氏

定員

300名

対象

医師、多職種

申込み

ホームページ申込みフォームまたはFAXより
お申し込みを受け付けております。

受講修了者には京都府から修了証書が発行されます。(医師のみ)

◆日医生涯教育カリキュラムコード

0. 最新のトピックス：1単位

13. 医療と介護および福祉の連携：0.5単位

29. 認知症の障害：0.5単位

令和8年度認知症対応力向上多職種協働研修会 (下京東部・下京西部・東山)

ホームページ申込みフォーム

右記の二次元コードをお持ちのスマートフォンで読み取ると、
申込みフォームのページが表示されます。



または

検索エンジンにて「京都 在宅医療」で検索し、
当センターホームページからお申し込みできます。

京都 在宅医療



ご不明点がございましたら当センターまでご連絡ください。

FAX

下記、受講申込書をFAXでも受け付けております。ご都合の良い方法でお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

職 種		所属地区	
氏 名		所属機関名	
メールアドレス			
電話番号		FAX番号	
受講決定通知・ 修了証書 送付先	所属機関 ・ 自宅 ※送付希望先を選択ください		
	〒 ー		
	TEL:		

注意事項 ▶ 定員は300名です。人数を超過した場合にはご連絡いたします。▶ 後日、受講決定通知を郵送いたします。

京都府医師会 在宅医療・
地域包括ケアサポートセンター

FAX:(075)354-6097

問い合わせ

京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

TEL:075-354-6079 FAX:075-354-6097 メール:zaitaku@kyoto.med.or.jp